

## 地域森林計画の変更について

- 1 要整備森林の指定
- 2 開設すべき林道の追加

---

治山林道課

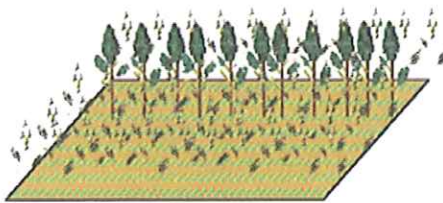
## 特定保安林制度の概要

- 適切な施業が実施されず機能が低下した保安林において、森林所有者等による森林施業を促す制度
- 指定対象となる森林は、過密林、疎林または粗悪林であって所定の要件を満たす森林(要整備森林)が所在する保安林

### 要整備森林とは

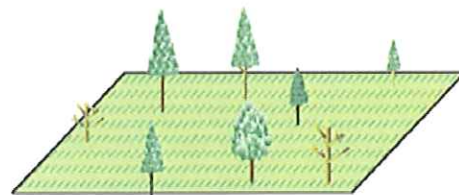
#### 過密林

除間伐が行われていないため、下層植生が消失したり、表土が流失している状態



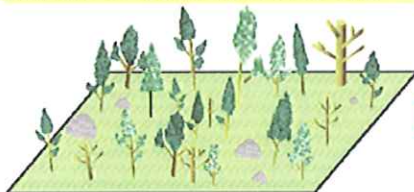
#### 疎林

樹木がまばらにしか生えていない状態

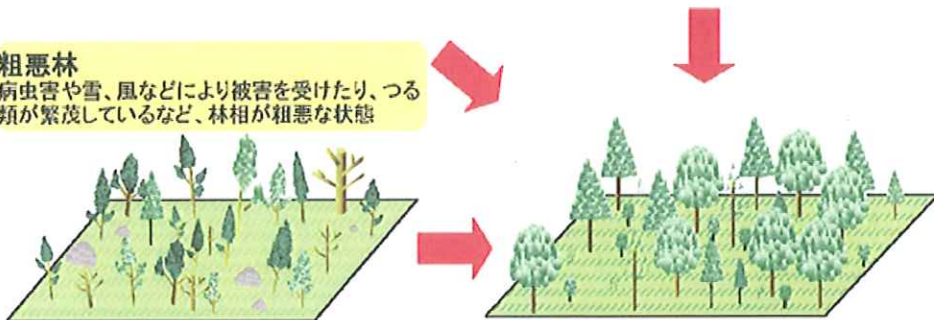


#### 粗悪林

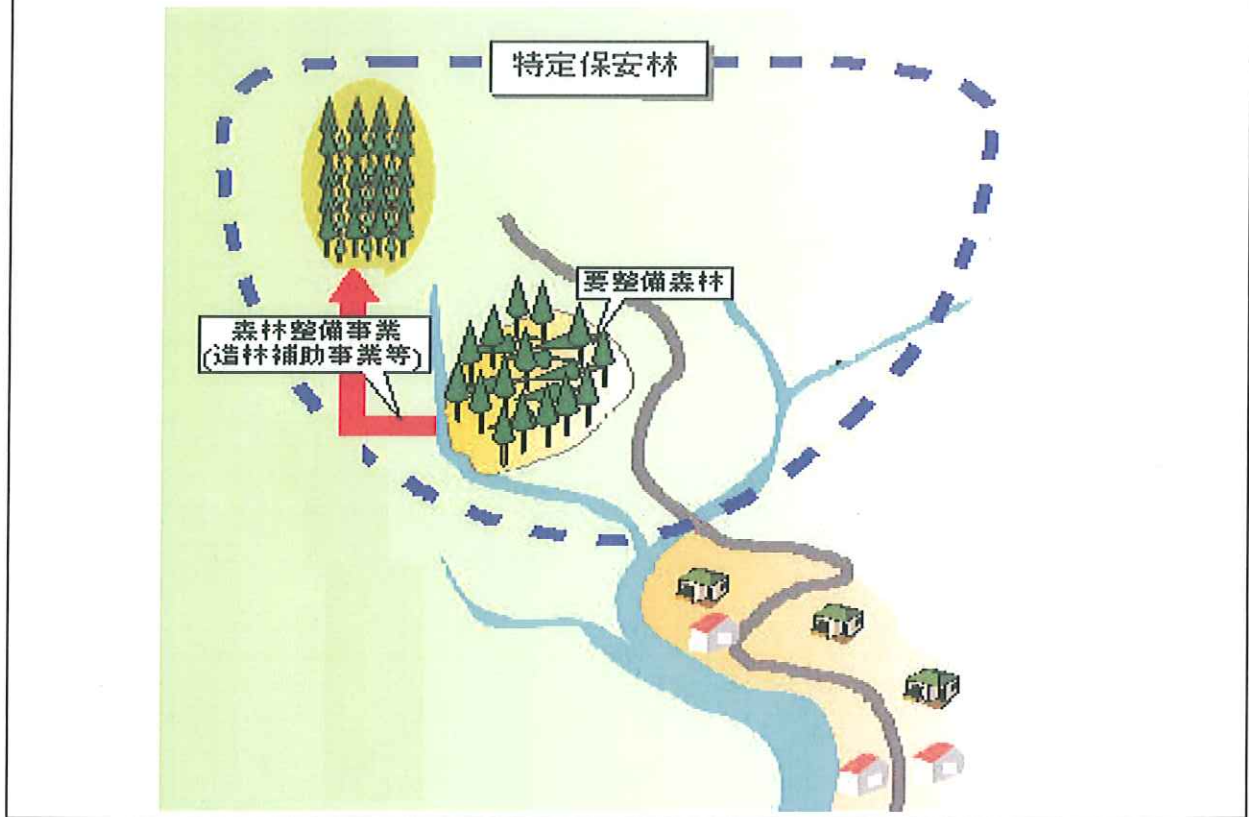
病虫害や雪、風などにより被害を受けたり、つる類が繁茂しているなど、林相が粗悪な状態



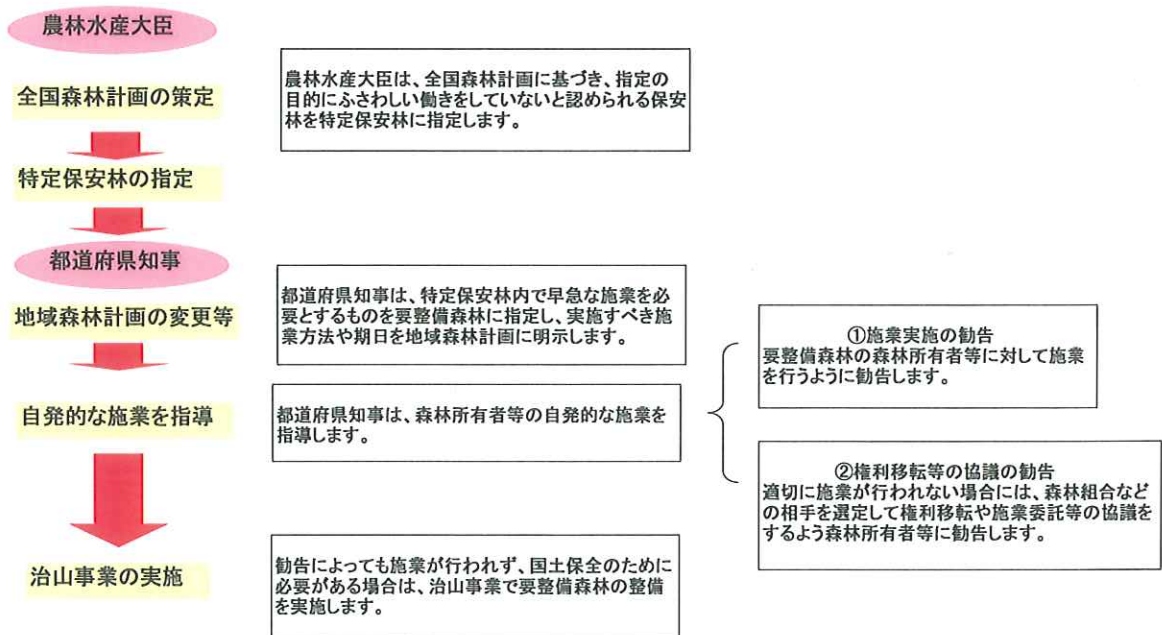
適正に管理された森林へ



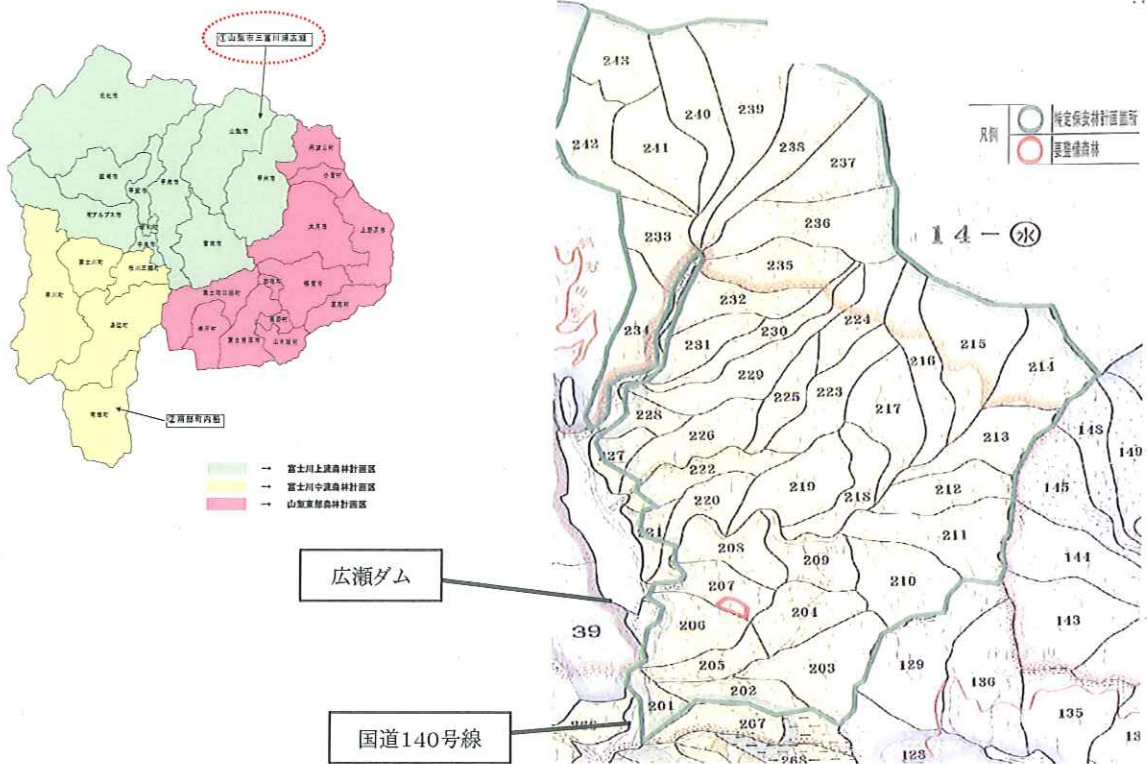
# 要整備森林と特定保安林



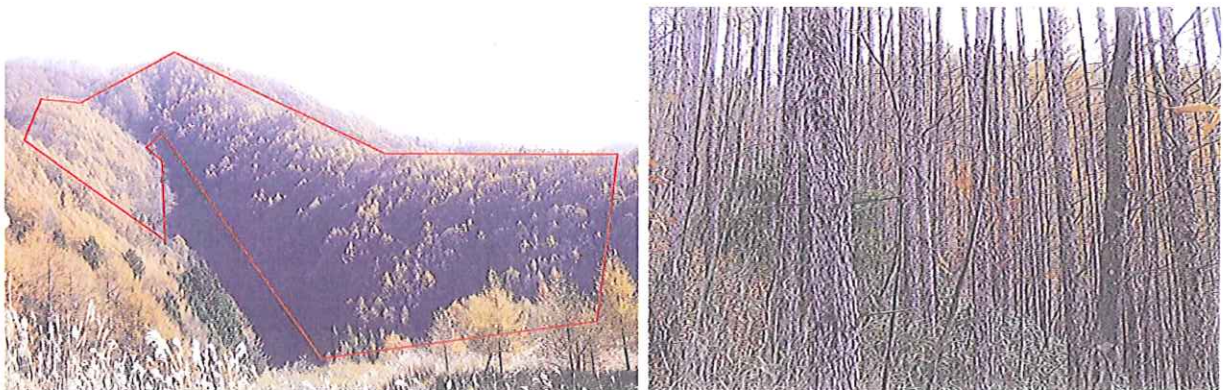
## 特定保安林制度の流れ



# No.1 要整備森林 山梨市三富川浦地内



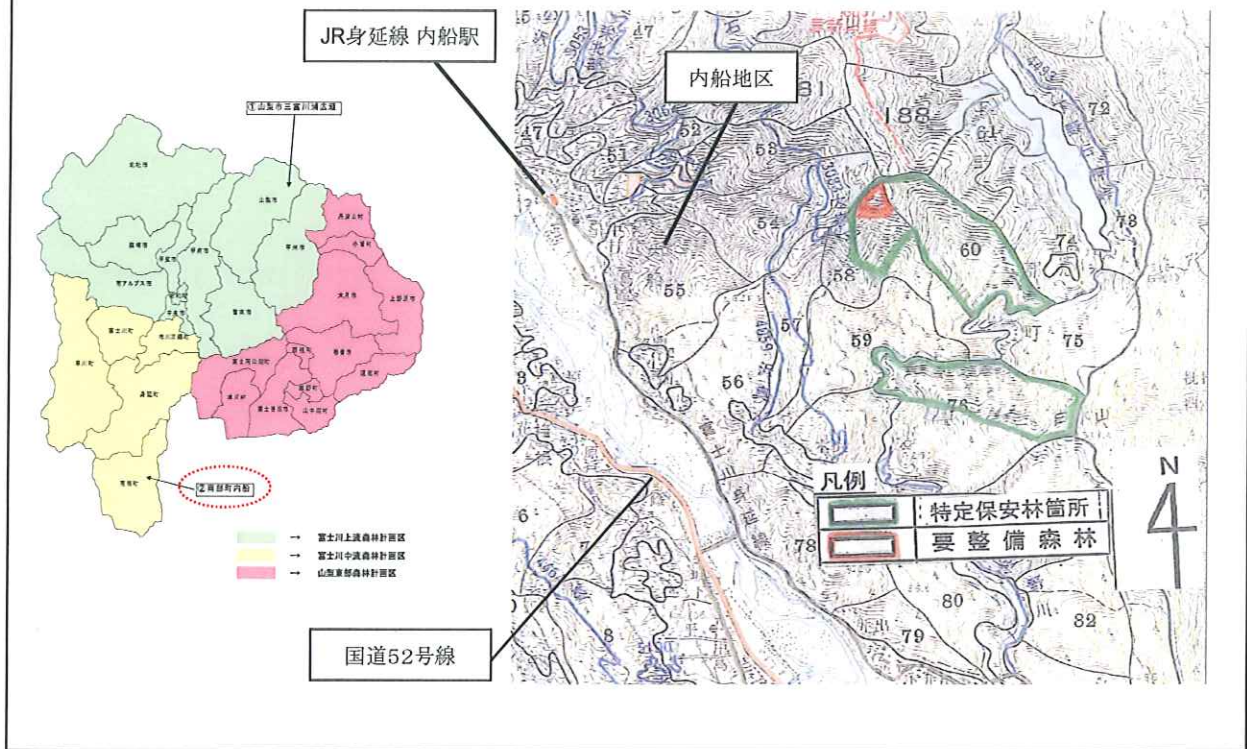
# No.1 要整備森林 山梨市三富川浦地内



(遠景)

(林内)

## No.2 要整備森林 南部町内船地内



## No.2 要整備森林 南部町内船地内



(遠景)



(林内)

## 路網整備の推進

「森林・林業再生プラン」の策定  
(H21.12 農林水産省)

今後10年間で目途に路網の整備、森林  
施業の集約化及び必要な人材育成を軸  
として、効率的かつ安定的な森林経営  
の基盤づくりを進める

★木材生産と公益的機能の発揮を両立させる森林経営の確立を通じ、**10年間で国産材自給率50%**  
以上を目指すことが重要な成長戦略  
★持続的な森林経営は、山村地域の雇用創出と地球環境への負荷の少ない低炭素社会の構築にも  
寄与

### ★新しい路網・作業システム

・長初期施業を進め、間伐を繰り返して木材収穫をあげていくことを前提として、壊れにくく、維持費の  
かからない、使いやすい道づくりを進めていく。

◆新たな路網区分として、I林道、II林業専用道、III森林作業道  
○路網に係る道を「林道」とし、主として林業用機械が走行する「森林作業道」に区分。  
○さらに「林道」を、  
①「林道」 ②「林業専用道」に区分。

### I 林道：一般車道の走行を予定して開設する道

- セミトレーラーまで通行可能
- 一般の車両の通行が可能のように交通安全施設や保護施設を完備

### II 林業専用道：林業専用の車両の走行を予定して開設する道

- 林道規定及び新たな「林業専用道施設指針」(H22.9)
- 10t積みトラック、大型フォワーダ等が走行 低車幅で耐久性のある道
- 一般の車両の通行を予定しないため、必要最小限の施設に限定(土構道を原則)

### III 森林作業道：主として林業機械が走行する。また、人員輸送車などによる森林作業の ための特定の人の利用を想定。

- フォワーダ等林業専用車両、2t積程度の小型トラックの走行
- 必要最小限の施設に限定

### (施策・事業の目的)

計画に基づく林道、林業専用道、森林作業道の整備

適正な林内路網密度の確保  
による、  
・森林整備の効率化  
・収穫間伐の促進  
・国産材の安定供給の推進

山村地域の雇用創出と地球環境への負荷の少ない低炭素社会の構築に寄与

- \* 安定した木材供給、収穫間伐の拡大
- \* 林業木材産業の活性化
- \* 地域の雇用の確保
- \* 山村地域の定住環境の改善に寄与
- \* 森林整備の推進による、公益的機能の高度発揮
- \* 地球温暖化対策への貢献

○ 林業経営の基盤づくり

※ 林内路網の計画的整備

■ 持続的・効率的な林業経営の確立

### ◎林内路網整備のイメージ図

